

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2001-250563 (P2001-250563A)
 【公開日】平成 13 年 9 月 14 日 (2001.9.14)
 【出願番号】特願 2000-58430 (P2000-58430)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 4/86 (2006.01)
H 0 1 M 8/02 (2006.01)
H 0 1 M 8/12 (2006.01)
G 0 1 N 27/409 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 4/86 T
 H 0 1 M 8/02 K
 H 0 1 M 8/02 E
 H 0 1 M 8/12
 G 0 1 N 27/58 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 24 日 (2007.1.24)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】電気化学デバイス

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 バリウムを含むペロブスカイト型酸化物の固体電解質と酸化極とを少なくとも具備する電気化学デバイスにおいて、前記酸化極は、少なくとも B a を含むペロブスカイト型酸化物から構成されることを特徴とする電気化学デバイス。

【請求項 2】 前記酸化極を構成するペロブスカイト型酸化物がさらに希土類元素を含むことを特徴とする請求項 1 記載の電気化学デバイス。

【請求項 3】 前記希土類元素は少なくとも P r 及び N d の内いずれかの元素を含むことを特徴とする請求項 2 記載の電気化学デバイス。

【請求項 4】 前記酸化極を構成するペロブスカイト型酸化物は、さらに L a を含むことを特徴とする請求項 1 記載の電気化学デバイス。

【請求項 5】 前記酸化極を構成するペロブスカイト型酸化物は、さらに M n、F e、C o、N i、及び C u の元素の内少なくとも一種の元素を含むことを特徴とする請求項 4 記載の電気化学デバイス。

【請求項 6】 前記酸化極を構成するペロブスカイト型酸化物は、 $B a_{1-x}L a_xM O_3$ (M は 3 価のカチオン) で表される組成のペロブスカイト型酸化物であることを特徴とする請求項 4 記載の電気化学デバイス。

【請求項 7】 前記 M が M n、F e、C o、N i、及び C u の元素の内少なくとも 1 種の元素を含むことを特徴とする請求項 6 記載の電気化学デバイス。

【請求項 8】 前記 x が 0 . 6 であることを特徴とする請求項 6 記載の電気化学デバイス。

【請求項 9】 前記酸化極を構成するペロブスカイト型酸化物が $Ba_{0.4}La_{0.6}CoO_3$ であることを特徴とする請求項 6 記載の電気化学デバイス。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明の電気化学デバイスは、バリウムを含むペロブスカイト型酸化物の固体電解質と酸化極とを少なくとも具備する電気化学デバイスにおいて、前記酸化極は、少なくとも Ba を含むペロブスカイト型酸化物から構成されることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】